

城南家保ニュース Vol.26-6

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



平成 26 年度病性鑑定研修会が開催されました



講習会風景

去る8月29日に、熊本市南区城南町の中央家保において平成26年度病性鑑定研修会が開催されました。本研修会は、家畜伝染病の診断技術の向上・継承の目的で新採・中堅の若手職員を中心に毎年実施されています。

事前に調査した希望内容により、職員のスキルアップ研修として検査課の専門スタッフからの講義・実技指導が行われました。昨年度からは、万一の口蹄疫に備えた緊急病性鑑定時の写真撮影実習を研修前日に行い、当日に全員でその画像についての検討会も実施しています。

季節は過ぎやすく変化し、快適な秋の到来ですが、その分、ウイルスなどの病原体侵入も危惧されます。経験したくない口蹄疫・2度と経験したくない鳥インフルエンザですが、今後も万一来た取組は継続しなければなりません。

米国における水胞性口炎の発生について

本年5月下旬に米国テキサス州の農場において、飼育されている馬に水胞性口炎の発生が確認されたのでお知らせします。

水胞性口炎ウイルスは、牛、水牛、鹿、馬、豚、いのしし等に感染し、発症すると蹄、鼻及び口腔内に水疱を形成するなど「口蹄疫と同様の臨床症状を呈することから、特に偶蹄類動物においては、口蹄疫との類症鑑別上重要な疾病」とされています。



本病の感染経路については、感染動物や汚染物との接触、吸血昆虫による伝播が考えられています。つきましては、飼養衛生管理基準の遵守を徹底していただくとともに、不要不急の海外渡航の自粛や発生国からの帰国者及び物品を衛生管理区域へ近づけないように留意をお願いします。

PED 防疫強化のための養豚場調査について

管内の 28 養豚農場について、今月末をめぐりに飼養衛生管理の遵守調査と特に外部からの進入防止対策について、現場確認・聞き取り調査を実施中です。各農場でできる飼養衛生管理の遵守が「転ばぬ先の杖」です。万一来に備え、今後も継続的な実施を助言しています。

本年度の熊本県防疫演習について

本年度の防疫演習が、10月23日（木）に実施予定です。今年4月に発生を確認したHPAIの防疫対応について、家保、地域振興局、発生町及び国における内容を発表し、その後、健康福祉部による健診、防疫服の着衣、移動バス内での動員者説明、現場事務所から、農場での捕鳥、処分、梱包作業などの演習について実施されます。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
アフリカ豚コレラ	ロシア	5月15日～8月14日	豚 野生いのしし	-
高病原性 鳥インフルエンザ	ベトナム	8月11日	家きん	H5N6

編集後記

今年は猛暑というにはほど遠い夏でしたが、9月に入るとさらに過ごしやすい秋がやってきています。食欲、スポーツさらには勉学（読書）の季節です。先日、たまたま立ち寄った本屋さんで何故か絵本が気になり「命をいただく」という本に出会いました。と畜場に勤務する父、それを気にする息子、仕事にやりがいを見いだせず悩む父、と場で出会った牛をなでながら「かわいそう」となみだする少女。と畜後は、その牛肉を涙しながら「おいしいね」と食べる少女・・・。絵本で有りながら、命の尊厳を教えてくれた、親父も泣ける感動絵本でした。（衛生課 TN）